

# 会 議 録

会 議 名		平成 30 年度 第 2 回 八王子市環境推進会議				
日 時		平成 30 年 6 月 21 日 (木)	開 始	14 時 00 分	終 了	16 時 30 分
場 所		八王子市役所 8 階 801 会議室				
出席者氏名	委 員	<p>【環境市民会議】 金子 孝、奥村 司、高橋 一郎、佐藤 晃、浅田 政勝、 谷村 伸一（議長）、木野 孔司、田中 猛、山下 明子</p> <p>【市民委員】 飯沢 由里香</p> <p>【市職員】 小山総合経営部長、佐藤環境部長（副議長）、原田資源循環部長、 坂倉まちなみ整備部長、池内水循環部長、守屋都市計画部長、 南部環境政策課長</p> <p style="text-align: right;">以上 17 名</p>				
	事務局	<p>環境部環境政策課 : 星主査、三田主任、高橋主事、道山主事</p> <p style="text-align: right;">以上 4 名</p>				
欠席者氏名		<p>栗田 和仁、沼田 政見、加納 啓有、小沼 廣、吉川 政雄</p> <p style="text-align: right;">以上 5 名</p>				
議 題		<p>1. 議題</p> <p>(1) 第 2 次環境基本計画平成 29 年度の進捗状況について</p> <p>(2) 第 2 次環境基本計画の中間見直しについて（中間報告）</p> <p>(3) その他</p>				
公開・非公開の別		公開				
配 付 資 料		<p>【事前配付】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 【資料 1-1】 第 2 次環境基本計画の進行管理について</li> <li>・ 【資料 1-2】 「第 6 章 地域の行動」活動実績シート【平成 29 年度】</li> <li>・ 【資料 1-3】 「第 4 章 基本目標」進捗管理シート【平成 29 年度】</li> <li>・ 【資料 1-4】 「第 5 章協働プロジェクト」進捗管理シート【平成 29 年度】</li> <li>・ 【資料 1-5】 第 1 次環境基本計画管理指標の実績・評価シート【平成 29 年度】</li> <li>・ 【資料 2】 第 2 次環境基本計画の中間見直しについて（中間報告）</li> </ul> <p>【当日配付】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【資料 1-3】 「第 4 章 基本目標」進捗管理シート【平成 29 年度】</li> </ul>				
内 容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 谷村議長挨拶</li> <li>・ 委員の出欠及び配布資料の確認</li> </ul> <p>1. 議題</p> <p>(1) 第2次環境基本計画の平成29年度の実績及び評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次環境基本計画の進行管理について、資料1-1に基づき、事務局（環境政策課）より説明した。</li> </ul> <p>【説明内容抜粋】</p> <p>■第2次環境基本計画は、基本施策、協働プロジェクト及び地域の行動で構成されており、望ましい環境像の実現のため、市民・事業者、環境保全団体及び市は、それらに取り組み、点検・相互評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次環境基本計画「第6章 地域の行動」における各地区の活動実績について、資料1-2に基づき、各地区より説明した。</li> </ul>				

【説明内容抜粋】

- 【中央地区】「ごみの分別・リサイクルの推進」については、四民センターまつりなどのイベントへの参加を中心に活動を行った。温暖化防止活動ではイベントでの活発な活動と会員のスキルアップのため資格の取得を推進し、一定の成果を得た。河川の環境保全では清掃活動を行った。環境教育・学習については、学校側の要望に柔軟に対応して取り組んだ。まちの環境保全にかかる活動では自然体験講座、大気汚染測定などで貢献した。市制100周年記念イベント、全国都市緑化はちおうじフェアでは全部会で取り組み、花苗、花壇の管理、まつり・イベントへの参加など貢献した。
- 【北部地区】谷地川の7地点を対象に、パックテスト（COD）、pH、電気伝導度、溶存酸素量、水温調査を実施した。また、環境教育・環境学習などの推進においては、小学校環境学習支援として、小学校を対象に緑地の整備を体験するプログラムを実施した。道路地図をベースにし、5年前に作成したマップ情報の更新を行った。マップは今年度の6月に完成し、今後この地図をベースに活動していく。
- 【西部地区】元八王子地区では、現在22名で活動している。大気汚染測定においては、新たに地域を拡大し、全15ヶ所の設置及び回収を完了した。今後も測定地点の見直しを検討している。環境教育支援事業の実施においては、環境省主催の第5回グッドライフアワードにおいて三分方小学校のダンボールコンポストの取組みが環境大臣賞（学校賞）を受賞した。
- 【西南部地区】「高尾山の環境保全活動」では、年4回調査活動及び環境パトロールを実施した。他にも、案内板設置活動、小仏峠整備活動、湯殿川水辺環境調査、湯殿川生き物調査、駒木野野草保護・観察活動、自然体験講座、不法投棄パトロール、野鳥観察会、教育支援、長房市民センターパネル展、いちよう祭りごみの分別指導を行った。
- 【東南部地区】  
「東南部駅周辺のきれいさ評価や北野駅の清掃活動」では、地区内の6駅周辺でゴミを拾い、数を調査する「きれいさ評価」を実施している。その調査結果では、2004年比で約7分の1までゴミが減っている。また、町会とも協働で活動し、駅周辺や川や公園の清掃を行った。
- 【東部地区】「花壇の維持・管理」では、南大沢駅前のペDESTリアンデッキに設置してある大型花壇の維持・管理を実施している。環境教育支援事業の推進では、由木東小学校などの地区内の小・中学校で、環境教育の支援を実施した。「ダンボールコンポスト」の普及活動では、ごみ減量対策課との連携により普及を推進している。

【質疑・応答及び意見】

- 【飯沢委員】西部地区の「河川・湧水の水質調査」とあるが、下水道の普及率はどうなっているか。  
→現在の八王子市全体では、99.3%であり、下水道接続率の場合98.2%になる。西部地区では市設置の浄化槽という形で下水処理を行っている所が比較的多くある。
- 【田中委員】浅川について、川へ下れる場所が幾つかあるが、草が生い茂り、川と親しもうと思っても、危険もあり難しい。どうにかならないか。  
→市として、川に入ることは禁止していないが、そういった場所では気を付けて活動して頂きたい。すべての場所で草刈りなどを行なうことは難しいが、順次優先される場所から、管理は進めている所である。
- 【奥村委員】他の地区の報告を聞くと、町会自治会との関係がとても良く取れているように感じている。北部地区でも町会自治会と連携を取りたいがなかなか難しいのが現状であるため、市に協力してもらい活動が進めることができれば良いと感じている。  
→各地区ごとの対策となると難しい部分もあるが、町会自治会連合会とは調整を行っているところではある。地区ごとに関しては町会自治会と協力体制を作って頂きたい。

南部 委員より各地区の評価案が提案された。

<中央地区>

市民センターまつりやイベントに積極的に参加するなどの啓発活動を積極的に行っており、地元に着目し親しみやすい活動を展開している。また、昨年度では緑化フェアでのフードフェスティバルでゴミの分別指導を行って頂いた。今後も引き続き、市民の方、事業

者の方と協力して活動を進めて頂きたい。

＜北部地区＞

継続的な小学生の環境学習の実施や緑地保全活動をして頂いている。さらに、昨年度は環境マップを新たに作成し、北部地区の魅力を発信するきっかけとなっている。今後も緑地保全活動を継続して、なおかつ環境マップを活用することで、市の魅力を発信して頂きたい。

＜西部地区＞

環境学習支援を継続して行っており、ダンボールコンポストの普及にも貢献して頂いた。環境省主催のグッドライフアワードでは環境大臣賞を受賞し、素晴らしい成果である。また、地域の方に向けた環境レポートを情報発信し、地域に向けた環境保全活動として高く評価できる。今後は地域と協力して活動を拡大してもらいたい。

＜西南部地区＞

昨年度の緑化フェアでは西南部のサテライト会場での出店などの取り組みをして頂いた。また、地区の環境保全活動を行うと共に、小学校の環境教育支援では環境意識の向上に貢献して頂いた。引き続き地域と連携した取り組みを進めていただきたい。

＜東南部地区＞

東南部地区内6駅周辺のごみの量によるきれいさ評価や、町会と連携した喫煙マナーアップキャンペーン、駅周辺や川の清掃活動を継続して実施しており、きれいなまちづくりへの効果が表れていることは高く評価できる。今後も地域と連携して環境保全活動を継続して頂きたい。

＜東部地区＞

昨年度の緑化フェアではサテライト会場の1つでもあった南大沢駅前の大型花壇の維持管理に貢献して頂いた。環境の学習会においてもステップアップにつながり高く評価できる。今後も引き続き、地域と連携した清掃活動やこれらの講座を行い、より多くの人の意識啓発につなげていただきたい。

■【谷村 議長】南部委員の評価案を環境推進会議の相互評価として取り上げてよろしいか。

**全員承認**

・第2次環境基本計画「第4章 基本目標」における進捗管理について、資料1-3に基づき、事務局（環境政策課）より説明した。

【説明内容抜粋】

■ I-3「まちなかみどりの保全・創出」は、成果指標「グリーンマッチング八王子制度を利用し管理している面積」のH29実績が892㎡であり、増減なしとなっていることからやや遅れている。施策の展開としては、モデル事業として里山サポーター育成講座の修了生斜面緑地に派遣し、農地バンク制度におけるマッチングも4件成立したため、総合評価として「ほぼ達成した」と評価している。今後も遊休農地を活用し、まちなかみどりの保全を進めていく。

■ I-4「水資源の保全と再生」は、成果指標「雨水浸透施設設置数」のH29実績が1,852基（49基設置）であり、やや遅れている。施策の展開としては、市施設や道路施設内への雨水浸透施設の促進等により取り組みを促進しており、総合評価としては「ほぼ達成した」と評価し、今後も雨水浸透施設設置のPRや流出抑制指導の徹底により拡充していく。

■ II-1「ごみの発生抑制と資源化の推進」は、成果指標「1人1日当たりのごみ総排出量」のH29実績が777gであり、最終目標を達成しているため順調である。施策の展開としては、食品ロス削減やダンボールコンポストの普及を推進し、総合評価としては「ほぼ達成した」と評価し、今後も剪定枝の資源化モデル事業に向け調査を進める。

■ II-2「廃棄物の適正処理」は、成果指標「埋立処分量の推移」のH29実績が40t/年間であり、中間目標を達成しているため順調である。施策の展開としては、不法投棄や資源物の持ち去り対策としてパトロールや張り込みを実施する取り組みをほぼ達成又は達成しており、総合評価としては「達成した」と評価し、今後も不燃残渣の資源化を施行するなどの施策を展開していく。

■ II-3「二酸化炭素（CO2）排出量の削減」は、成果指標「市民1人当たりの年間CO2排出

量の削減割合（平成12年度比）」のH29実績が25.1%（平成27年度値）であり、運輸部門「自動車の燃費向上」等の影響で大きく削減が進んだため、順調である。施策の展開としては、独自規格による環境マネジメントシステム（H-EMS）の運用を開始した。取り組みを達成又はほぼ達成しており、総合評価としては「ほぼ達成した」と評価し、今後もCO2排出量の削減を進める。

■IV-2「安全で健康な暮らしを守る」は、成果指標「周囲の生活環境（大気汚染、騒音・振動）について良いと感じている市民の割合」のH29実績は44.2%であり、中間目標に届いていないことからやや遅れている。施策の展開としては、公害防止対策の推進により取り組みをほぼ達成しており、総合評価としても「ほぼ達成した」と評価し、今後も環境測定の実施・情報提供等により、取り組みを継続する。また、生活環境の良さをPRする方策を検討する。

・第2次環境基本計画「第5章 協働プロジェクト」における実績及び評価について、資料1-4に基づき、事務局（環境政策課）より説明した。

#### 【説明内容抜粋】

■プロジェクトI「里山復活プロジェクト」は、管理が行き届いていない里山を対象としており、H29は「上川の里」特別緑地保全地区整備等により「ほぼ達成した」と評価し、今後は緑化フェアでの活用など、取り組みを拡充していく。

■プロジェクトII「生ごみ資源化促進プロジェクト」は、家庭から発生する生ごみを対象としており、H29は生ごみリサイクルリーダー等により「ほぼ達成した」と評価し、今後は生ごみ減量・資源化の冊子の作成など、取り組みを維持していく。

■プロジェクトIII「省エネ応援プロジェクト」は、市民・事業者のエネルギー使用量を対象としており、H29は地球温暖化防止活動推進員の「家庭の省エネエキスパート検定」取得や普及啓発等により「達成した」と評価し、今後は同推進員の活動の幅をさらに広げ、取り組みを拡充していく。

■プロジェクトIV「環境教育サポートプロジェクト」は、小・中学校の児童・生徒を対象としており、H29は環境教育・学習における地域の人材の活用等により「ほぼ達成した」と評価し、今後は環境学習により環境意識の向上を図り、取り組みを拡充していく。

■プロジェクトV「地域の環境美化プロジェクト」は、居住地周辺の美化を対象としており、H29は公園アドプトや水辺の水護り等により「ほぼ達成した」と評価し、今後も引き続き環境美化に努め、取り組みを拡充していく。

#### 【質疑・応答及び意見】

■【山下委員】里山の緑地について環境活動団体から、草が生い茂り動植物の調査が難しくなっているとの話を聞いている。里山の管理はどのように行っているのか。

→里山全てにおいて管理することは難しいが、順次管理を進めており現在3か所で管理を行っている。今後も、里山サポーターとの協働により活動範囲を広げていく。

■【奥村委員】グリーンマッチングについて、進捗が大きく遅れているため、抜本的な対策が必要ではないか。

→現状としてマッチングがなかなか進んでいないが、里山のモデル事業として斜面緑地で里山サポーターに活動して頂いた。今後はマッチングの前の段階としてのモデル事業を展開し、所有者の方に呼びかけを行い、PRを積極的に行っていく。

■【田中委員】ダンボールコンポストについて、どのように考えているか。

→全体から見た普及率は低いですが、啓発活動として重要な部分を担っている。今後は広報でも目に付くように記事を掲載し、学校等にも普及していく。

■【田中委員】食品ロスについて、市としてどのように指導しているか。

→平成29年度より造形大とも連携しているところではある。なかなか全て使い切りとまでは難しいが、現在100店舗以上の店で3010（サンマルイチマル）運動など食品ロス削減に協力して頂いている。

■【田中委員】マイクロプラスチックについて、近年海に漂流しているそうだが、どのように考えているか。

→解決手法はまだないが、社会問題の1つとして認識している。地域の方にも働きかけて、具体的には情報収集から始めていきたいと考えている。

■【金子委員】I-6「生物多様性」について、指標を世論調査としているのは、どうなのか。

→まずは、マイクロプラスチックの件と同様に知っていただくこと、周知することが大事であると考えている。周知の指標という意味ではこれまでの5年間で右肩上がりとなっている。

■【谷村 議長】環境推進会議の相互評価については委員の発言を元に事務局が取りまとめるとい形をお願いしたい。まとめた内容については議長に一任とする。

#### 全員承認

・第1次環境基本計画の環境分野編における管理指標の平成29年度の実績・評価については、時間の都合上、資料1-5の提出をもって報告とした。

(2) 第2次環境基本計画の中間見直しについて（中間報告）

・資料2に基づき、事務局（環境政策課）より説明した。

#### 【説明内容抜粋】

■ I-3「まちなかのみどりの保全・創出」について、新たに2つの指標を追加した。農地バンクについての最終目標値については現在担当間と調整中である。

■ I-4「水資源の保全と再生」について、下水道整備区域間で時間10mmの雨水流出を抑制する対策の達成度を表す、指標（雨水流出抑制対策率）を追加している。

■ II-1「ごみの発生抑制と資源化の推進」について最終目標値を昨年度達成したため、上方修正を行っていく。また、食品ロスの記載を追加している。環境学習については、III-1へ集約している。

■ IV-2「安全で健康な暮らしを守る」では、新たに大気汚染の原因となる光化学スモッグの発生状況をはかる指標（光化学オキシダントの測定）を追加し、環境基準値を達成する日数の増加を目指している。

#### 【質疑応答】

■【田中委員】I-3「まちなかのみどりの保全・創出」について、とても良い施策と思うが、公園については全ての場所が対象となるのか。

→みどりがなく遊具がある場所などは除くが、大方対象となる。

■【奥村委員】I-3「まちなかのみどりの保全・創出」の指標について、「市民1人あたりの都市公園面積」とあるが、分母となる人口が減った場合も増加するのではないか。

→八王子では現在のところ、人口減にはなっていないため、数値は公園面積の増加と考えると良い。

■【山下委員】みどりの質についても考えて頂きたい。

→今後の「みどりの基本計画」でも検討していく。

■【田中委員】森林の保全について、昔は必然的に行われていた部分もある。計画ですぐに変えられるものではないが、方向性について知りたい。

→所有者が不明で保全活動できない部分もあるが、里山を始めとした、林地の境界に関する情報などを整備・公表する林地台帳の作成を検討している。

■【飯沢委員】感想として、雑草の生え方が近年以上に増えているように感じる。みどりの保全としてアドプト制度があるが、ボランティアでの活動にも限りがあるため、事業者との連携も考えた方がいいと思っている。

■【谷村議長】以上をもちまして、平成30年度第2回環境推進会議を終了いたします。

以上

署名人

平成30年9月6日

署名人 山下 明子